

第6回 健都共創フォーラム

主催：一般社団法人健都共創推進機構 / 北大阪健康医療都市共創推進協議会
共催：JST共創の場形成支援プログラム国立循環器病研究センター拠点
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
後援：吹田市（公財）吹田市健康づくり推進事業団 吹田商工会議所
摂津市 摂津市商工会 京都リサーチパーク(株)

日時：2026年3月12日(木) 13:00～17:00
会場：医薬基盤・健康・栄養研究所 1階 研修展示室
(摂津市千里丘新町3-17 健都イノベーションパークNKビル)

～“健都”における産学官民連携展開～

報告①「北大阪健康医療都市共創推進協議会・CCSCの始動」

北大阪健康医療都市共創推進協議会 事務局 堀 洋

講演①「リビングラボ手法で広がる地域の可能性について」

医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長特任補佐/健都戦略研究支援部長 吉武 徹 氏

報告②「健都万博2025の取り組みについて」

健都共創推進共同企業体

報告③「エア・ウォーター健都のリニューアル稼働」

エア・ウォーター(株) ウェルネス開発センター 健都企画グループ 松川 健宏 氏

一般社団法人 健都共創推進機構

けんときょうそうすいしんきこう

General Incorporated Association KENTO Co-Creation Promotion Organization (KCOP)

設立：2023年3月6日



『健都共創推進機構 (KCOP)』は、北大阪健康医療都市（「健都」）を中心とする総合健康産業都市拠点で行われる研究活動などの成果を効率的に住民・市民に還元することの支援を目的のひとつとしてかけ、2023年3月に設立された新しい団体です。大阪府や吹田市・摂津市とも協力して、関係者間の連携・調整を図り、「健都」を中核とした社会実装の推進による北大阪の健康まちづくりの一翼を担いたいと考えています。

ホームページ：<https://co-creation.ken-to.jp/kcop/>

※ 健都ポータルサイト (<https://co-creation.ken-to.jp/>) から簡単にリンクできます。

役員等 (2026年03月01日現在)

- ・代表理事：米田 悦啓 (一般財団法人阪大微生物病研究会 理事長)
- ・理事：望月 直樹 (国循 理事・研究所長)、佐々木 卓也 (徳大 産学官連携SD/国循 客員部長)、北波 孝 (国循 企画戦略局長)、堀 洋 (一般社団法人健都共創推進機構 事務局長)
- ・監事：井上 泰宏 (株式会社三菱UFJ銀行 大阪公務部 部長)、鈴木 恵理子 (鈴木恵理子公認会計士事務所 公認会計士)
- ・職員：3名



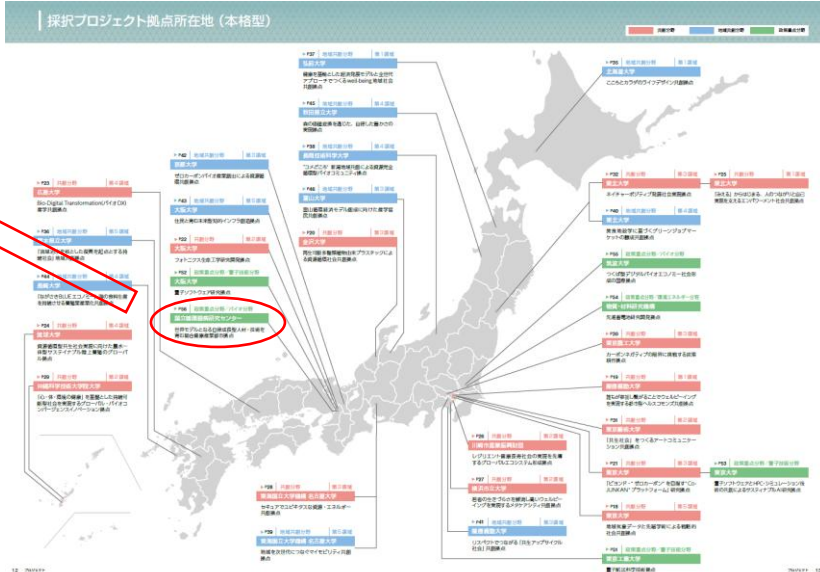
「JST 共創の場形成支援プログラム・国循環拠点」参画機関としての活動

政策重点分野/バイオ分野【本格型】
2020年度採択

世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点

代表機関 国立循環器病研究センター | プロジェクトリーダー 曙月 直樹 | 国立循環器病研究センター 研究部長

参画機関 エーザイ(株)、東和薬発(株)、シスメックス(株)、ニプロ(株)、JSR(株)、CYBERDYNE(株)、(株)クロスエフェクト、シミックホールディングス(株)、メディアフォード(株)、アズビエ社、エーフォーター(株)、東リ(株)、(一社)日本セルフケア推進協会、(株)三菱UFJ銀行、高松新ホールディングス(株)、JCRファーマ(株)、ネクスジェン(株)、(一社)大阪大慶生物病研究会、Wellier(株)、WillSame(株)、バイオコミュニティ関西、大阪産工会連合、大阪府、吹田市、堺市



「共創の場」研究成果の社会実装

異分野連携
プラットフォーム

イノベーション加速
プラットフォーム

北大阪健康医療都市から創出する研究開発成果に関連する、情報・サービスを正しく・的確に理解し、自身の生活に活用できる力「健康リテラシー」を身に付ける支援

北大阪健康医療都市に関連する研究資源「研究者・研究内容/成果・利活用可能な研究機器...etc」の可視化

北大阪健康医療都市を中心とする市民の研究参画を促す『健康科学研究応援隊』による健康データプラットフォームの整備試行

拠点ビジョン(未来のありたい社会像)の内容

難治性心血管疾患・難治性がん・認知症・新興再興ウイルス感染症を克服できるレジリエントな社会を実現するために、「健都」に未来型総合健康産業都市モデルを構築します。また、住民参加型バイオコミュニティのモデルとして、「健都」において住民全ての健康と福祉を達成します。健康・医療情報を収集し、住民個々の健康と福祉にシームレスに活用するためには、個人情報への配慮と信頼関係の建立を通じて、目標を一緒にするコミュニティのパートナーとしての意識を醸成できるようにします。

拠点ビジョン実現の為のアプローチ

国内に「オールスター研究センター」を設置し、そこにイメージング機器を含む最先端機器をリモートで活用できるプラットフォームを構築し、さらにデータプラットフォームへのリモートアクセスを可能とする次世代バイonetワークを配備し、アカデミア・企業の卓越研究者が連携して研究できるバイオコミュニティを形成します。また、医薬品・健康研究は「A健康・医療研究センター」を設置し、「共創の場」で構築されてくる数々のデータを目的に応じてAI解析し、市民の健康・予防・治療・予後管理などトータルヘルスケアの実現に重要な役割を担います。さらには、ポスト5G-A技術も開発し、住民の健康・医療状態の情報を集約可能な、世界のモデルとなる住民参加型バイオコミュニティを形成します。令和4年度スタートアップ創出/成長の促進支援に選定されたことを受け外部専門機関のBlock、WillSame社と共に健都でのスタートアップエコシステムの構築を目指します。

拠点ビジョン実現に向けた拠点の強み

各アカデミア間、各企業間、各政府省庁間の垣根を越えた産官学民の実質的融合連携を進める舞台として健都に開拓のアカデミア・企業・行政の卓越研究者や研究支援者等を所属機関に兼任する形で招聘し体制を整えている。国内のオールスター研究センターでは、卓越した研究者等の指導のもと最先端研究を遂行可能な体制を作っており、将来アカデミアと企業で選定できる優秀な若手人材を育成する活動を行っている。ウィズ・ポストコロナ時代を見据えた国際/バイオコミュニティ圏への移行の足がかりとして次世代バイonetワークを構築し、世界中の卓越研究者がリモートにてイメージングプラットフォームにアクセスし、地理的距離に制約されず継続的に研究を推進できる体制を構築している。

お問い合わせ先 国立循環器病研究センター 共創の場支援オフィス
TEL:06-6170-1070(内線40222) E-mail:coi-next-so@ml.nvco.go.jp URL:https://www.cocreation-nvco.jp/

健康・医療クラスター形成/健康・医療のまちづくり 推進体制

<https://co-creation.ken-to.jp/co-creation/#cluster>

▶ 健都（北大阪健康医療都市）クラスター推進協議会 ←大阪府

健康・医療のクラスター形成を推進、維持・発展を協議 <継続>

（北大阪健康医療都市の有機的な連携方策を協議・調整など）

- ①健康・医療クラスター内外の、有機的連携方策に関する協議・調整
- ②健康・医療クラスターの広報活動
- ③健康・医療クラスターへの立地インセンティブ、誘致活動、現状評価及び維持の課題等に関する協議・調整
- ④構成団体等との連絡調整

方策や方向の見定め・認識共有

▶ 北大阪健康医療都市（健都）参画会議 [旧称：連絡調整会議] ←吹田市

北大阪健康医療都市（健都）のまちづくりや地域経営について、集積機関や地権者が情報共有、意見交換 <継続>

（健康・医療、PR・地域づくり、環境・景観、防犯・防災を軸にした北大阪健康医療都市関連の地権者の情報共有及び意見交換）

- ①健都の認知度向上に向けた取組みの検討
- ②健都の価値やブランド力を高める景観形成などに関する検討

エリアマネージメントの誘導

▶ 北大阪健康医療都市（健都）共創推進協議会 ←（一社）健都共創推進機構

北大阪健康医療都市を中核とする産学連携イノベーションの推進と市民・地域連携の仕組みを協議

[健都共創フォーラム] 共創プラットフォームの確立、課題毎研究会の組成・調整

- ①健都内外の産学官民その他から成る共創基盤確立とその活用・連携方策に関する協議・調整
- ②共創基盤の維持・展開等に関する課題の協議及び課題解決に向けた対応及び進捗状況把握・評価や広報活動
- ③「健都共創フォーラム」活動の運営・支援及び新たな製品・サービスの創出を創出する課題毎の研究会の企画・運営支援
- ④国内外の共創基盤活動団体・機関・地域との連携

2025.07.18. 設立

共創への協働・実働

「第6回健都共創フォーラム」
2026.03.12.(木)

▷ 健康・医療のまちづくり会議 ←吹田市

健康・医療のまちづくりの推進に沿った地域医療のあり方などについての検討 <継続>

（北大阪健康医療都市を中心とした、健康・医療のまちづくりの推進に沿った新たな地域医療のあり方などについての検討）

- ①地域医療（病院・診療所の連携による予防医療・在宅医療等の在り方）に関する検討
- ②予防医療の教育・啓発、地域の診療所等との連携、市民・企業の循環器病予防の取組への参画に関する検討

※設置時の目的が概ね達成されたため、定期的な会議の開催は休止

将来、医療関係者が中心となって議論する案件が生じた際、必要に応じて開催する取扱い

「北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会」<CCSC> 設立趣意

その役割を終えた吹田操車場の跡地に、平成から令和に変わる時期以降、市立吹田市民病院、国立研究開発法人国立循環器病研究センター、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所健康・栄養研究所が、移転開業したことを端緒として、JR岸辺駅周辺を中心に“まち”が形づくられてきた「北大阪健康医療都市(健都)」には、研究機関や医療機関に加え、企業や団体が集積し、複合医療産業拠点(健康・医療クラスター)の形成と共に、健康・医療に関わるオープンイノベーションの展開が進められてきています。

また、それだけではなく市民が集う駅前商業施設、緑のふれあい交流ゾーン、都市型居住ゾーン、明和池公園等エリア、吹田SST地区をはじめ、JR岸辺駅周辺エリアなどにおいて、市民が健康・医療に関連する研究成果や開発製品・サービスを体験・参加出来る場所や機会も徐々に整備されてきており、健康・ヘルスケア産業創出の加速と新たなライフスタイルの創造を生み出し、まちぐるみでの健康増進・地域活性化が実現可能な地区(健康・医療のまちづくり)の形成が目指されています。

このように形成されつつある、産・学・官・民・医・金が、**健康・医療に関する異分野連携とオープンイノベーションを通じた共創を具現化するプラットフォームの構築と機能化**において、北大阪健康医療都市を中核とする**産学官民その他の連携イノベーション推進と市民・地域連携の仕組みの協議を担い得る会議体の組成・機能化**が急務です。我々はここに、**「北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会(CCSC for KENTO)」**を設立・発足させ、**健康、休養、栄養、運動、医療・医学周辺など、ヘルスケア・健康科学や生活科学領域などのライフサイエンス分野の共創推進のための技術・サービス等の開発と社会実装を実現することで、関連諸分野の産業振興と、地域住民や国民の健康寿命の延伸及び健康生活の質の向上を目指します。**

「北大阪健康医療都市共創推進協議会」<CCSC> 概要

<https://co-creation.ken-to.jp/ccsc/>

名称：北大阪健康医療都市（健都）共創推進協議会

[The Co-Creation Steering Council for NohBIT, KENTO (CCSC for KENTO)]

活動概要：

北大阪健康医療都市を中核とする産学連携イノベーションの推進と市民・地域連携の仕組みを協議
[健都共創フォーラム] 共創プラットフォームの確立、課題毎研究会の組成・調整

- ①産学官民その他から成る共創基盤確立とその活用・連携方策に関する協議、
- ②共創基盤の維持・展開等に関する課題の協議、
- ③それら課題の解決に向けた対応及び進捗状況把握・評価や広報活動、
- ④「共創フォーラム」の活動運営・支援と
新たな製品・サービスの創出を創出する課題毎の研究会の企画・運営支援、
- ⑤国内外の共創基盤活動団体・機関・地域との連携・ネットワークコネクションの形成
- ⑥その他、上記活動に関連する事項

参画会費：

※初期参画機関が制定する会則に従って会費を設定する ←将来的に
(但し、**当面の間は、会費徴収をしない**) ←

COI-NEXT・NCVCプログラム
終了時点での自律を目標とする

事務局：一般社団法人 健都共創推進機構・KCOP

問合せ：e-mail：headquarters_kcop@ken-to.jp

電話：06-6170-2417（担当：堀、古澤）

協議会メンバー [将来有料化が予想される]

- ・「健都ポータルサイト」へのバナー掲出
 - ・「健都」からの情報発信 <12件/年程度>
 - ・「相談/コンサルティング」実証事業企画～実施
 - ・「共創フォーラム」「研究会」関連セミナー/イベント
- 。。。。。。その他も検討中

「北大阪健康医療都市共創推進協議会」<CCSC> 参画申込み

20xx年 xx 月 xx 日

CCSC for KENTO 事務局宛

北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会(CCSC for KENTO)参画申込書

北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会の趣旨に賛同し、貴協議会に参画の申込みをいたします。

機関・団体名 _____

協議会登録者

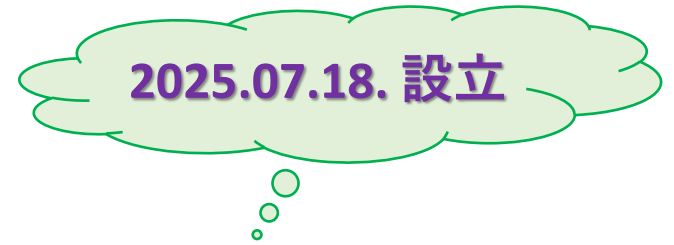
氏名	部署・役職名	e-mail

何かご不明な点がございましたら、遠慮なく担当までご連絡ください。

申込先: CCSC事務局 (info_koop@ken-to.jp)

問合せ: e-mail : info_koop@ken-to.jp(事務局) または、

電話 : 06-6170-2417 (担当: 堀、古澤)



設立時参画メンバー

⇒ 29 機関/団体

「北大阪健康医療都市共創推進協議会」<CCSC> 参画メンバー

後日、健都ポータルサイトで公開予定

「北大阪健康医療都市共創推進協議会」<CCSC> 会則・内規(諮問委員会)

北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会 会則 (案)

第1条(名称)
本会は名称を北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会とし、英語表記を The Co-Creation Steering Council for NABET, KENTO 略称、CCSC for KENTO とする。

第2条(目的)
本会は、以下の事項を目的とする(以下「本会目的」という。)
・ 最先端医療と先端製造技術シーズの研究開発、科学的検証、実証等の機会の提供、整備
・ 北大阪健康医療都市を中核として展開される産学連携によるオープンイノベーションの推進
・ 共創推進体としての維持、活用、連携方法などの策定
・ 地域、地域の関係者や、国内外の先端型産学連携団体、各種機関、地域等との連携しいネットワーキングの構築
・ 共創プラットフォームである「健都共創フォーラム」の設立

第3条(活動予定)
本会は、本会目的を達成するため、以下の活動を行うことを予定する。
・ 年1回の定例会及び必要に応じて臨時会合の開催
・ 「健都共創フォーラム」の運営、運営ないし支援
・ 本会目的に関連する企画、事業等の立案、実行、調整や、それらに関する意見交換、評価等の実施
・ 本会会員間の情報共有(本会目的達成のための課題の内容や対応状況、評価等)についての情報共有等。
・ 本会目的に関連する課題についての研究会、郵政、ワーキンググループ等の会内組織の企画、運営及びそれらへの各種支援
・ 本会目的に関連する広報
・ その他、本会目的を達成するために必要な事業、活動全般。

第4条(事務局等)
1 本会の事務局を、一般社団法人健都共創推進機構に置く。
2 事務局とは別に、本会会員の中から専任者を選出し、諮問委員会を設置し、事務局は諮問委員会に運営相談し、助言を受けるものとする(以下「諮問委員会」とする)。

第5条(役員構成)
本会役員は、本会目的に賛同するすべての民間事業者、団体、専門家、関連自治体、関連

1

機関等の法人個人(はそれらに属する個人で、本会が必要ないし、相当と判断した者とする。
2 会員の種別は、正会員、大学等アカデミア会員、自治体等会員、個人会員、その他とする。
3 専ら公益又は社会的効力に関わる者、それらに該当しなかつて種別期間を経過しない者は、本会役員に充てられる。
4 本会役員にならざる者とする場合は、所定の申込書等について事務局に申請する。
5 本会からの退会を希望する場合は、事務局に申し出て所定の手続きを経るものとする。

第6条(会費)
1 本会役員は別に定められた入会費、年会費その他本会に定める費用(以下「本会会費」という)を納入しなければならない。ただし、共創の創成期プログラム(COC-NEXT)令和2年度創成期プログラム(世界を主とする非専任成長人材 技術者育成健康産業都市創成)終了まで、会費は免除しない。
2 納入した本会会費等は返還されない。

第7条(役員資格の喪失)
本会役員は、次に該当する場合は本会役員を喪失する。
1 役員構成要件等の規定について有効な証明がなされない場合。
2 期間満了で本会会費等を納入しない場合。
3 本会の運営に支障を及ぼす行為を行う場合。
4 その他、本会で定められた規程に違反する行為を行う場合。

第8条(情報管理・目的外使用の禁止)
本会役員は、本会(研究会、郵政、ワーキンググループ等を含む。)に参加する中で知り得た機密情報や個人情報を適切に管理し、漏洩させてはならない。また、本会目的以外の目的に使用してはならない。

第9条(会員の責務)
本会役員は、本会(研究会、郵政、ワーキンググループ等を含む。本会において以下「本会」という)に参加する以上、以下の事項を守らなければならない。
(1) 他者のアイデアや情報を盗用し、転載してはならない。
(2) 会議、協議等で共有されたアイデアは、原則として参加者の共有財産とする。
(3) 知的財産権(特許権、著作権)に関わる情報は、事前にその許容範囲とし、侵害に取付けない。事前に認めないとする重大な侵害とする。
(4) 自身の発言や提案が他の参加者によって実質的に活用される可能性があることを理解する。
(5) 本会の活動状況や議論の内容等を公表、広報等しない場合は、その具体的方法も含め、

2

参加者の了解を得る。
(6) 本会役員である会議、協議、交渉等については、議事を持って協議し、解決を図る。

第10条(会内組織)
1 本会役員は、運営、会員用として研究会、郵政、ワーキンググループ等の組織(以下、これらの組織を総称して「会内研究会等」という。)を形成することができ、これを活用して自由に、事業化に向けた実証、検討、準備等を行うことができる。
2 会内研究会等の活動状況は、事務局に報告し、本会役員で共有する。
3 会内研究会等に参加する本会役員は、その活動と並行して、独自に実証、検討等の活動を行うことが可能である。
4 本会としてではなく、会内研究会等の活動にとどまる限り、その責任は当該会内研究会の参加者に帰属する。
5 会内研究会等は、当該会内研究会等の判断と責任において、実証検討や事業化の実現可能性を高めるため、本会役員ではない専門家、役員及び自治体等の関係機関の専門担当者を参加させることができる(ただし、その場合は事務局へ連絡しなければならない)。

第11条(その他)
本会役員は、会内研究会等の運営に際し必要な事項は、別途事務局において定める。

附則
この会則は令和7年(2025年)7月18日から施行する。

3

北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会
諮問委員会 内規 (案)

第1条(目的)
本会役員は、北大阪健康医療都市(健都)共創推進協議会(以下、「本協議会」という。)の事務局を統括し、事務局からの相談に対応し、助言、提案する等して、事務局と協力しながら本協議会の円滑な運営を目指すことを目的とする。

第2条(事務局)
本会委員会の事務局を一般社団法人健都共創推進機構に置く。

第3条(指定される受託)
本協議会に対し事務局から要せられる相談としては以下の事項が想定されるが、これらに限るものではなく、以下はあくまでも例示である。
(1) 本協議会における事業、活動や、各種会費等について、その開催準備、運営、維持に関する事項
(2) 本協議会が主催する「健都共創フォーラム」に関する事項
(3) 本協議会における研究会、郵政、ワーキンググループ等の会内組織の設置、運営等に関する事項
(4) 専門家、役員及び自治体等の関係機関の専門担当者を、外部からの参加者に参加する事項
(5) 本協議会内の各種情報の共有に関する事項
(6) 会員の退会や退会に関するもの等、役員資格に関する事項
(7) その他の本協議会の運営上必要と認められる事項

第4条(役員構成)
1 本協議会のメンバーは、本協議会事務局により役員から選定され、本協議会において運営の方法で承認を受けた者とし、何年度も再任可能とする。
2 本協議会メンバーの任期は、就任が承認された以降最初に開催される本協議会の会合(年1回開催される定例会のもの)の終了までとする。

第5条(情報管理・目的外使用の禁止、責務)
本協議会役員は第6条及び第9条は、本協議会においても同様とする。

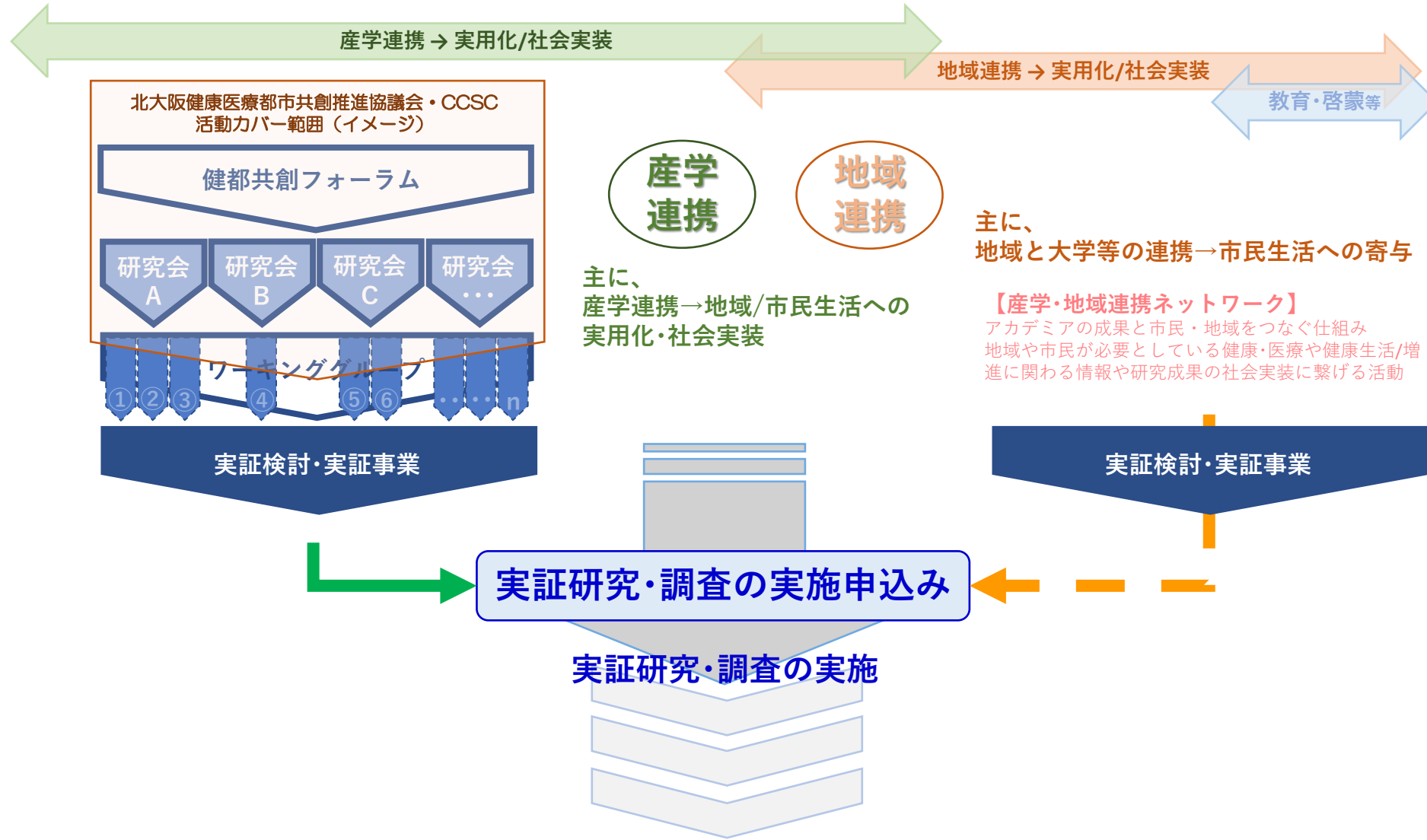
第6条(その他、統制)
1 本内規に定められたもの他、本協議会の運営に際し必要な事項は、別途本協議会が定める。
2 本内規は、本協議会の承認を経なければ変更することができない。

1

附則
この内規は、令和7年(2025年)7月18日から実施する。

2

[CCSC活動展開イメージ] 共創フォーラム・研究会・ワーキンググループ



サービスや製品/研究成果の実用化・社会実装へ

CCSC設立(2025.07.)からの活動展開

2025年度

2026年度

29機関/団体等 参画

設立後の調査・ヒアリング等
取り組み希望課題をとりまとめ
3つの研究会を組成し活動へ

新たな賛同者や参画メンバーが必要とするメンバーの追加

“口腔科学”に関する ⇒ **オーラルサイエンス研究会**

“抗加齢、身体活動/運動、睡眠”に関する ⇒ **健康まちづくり研究会**

“日常生活/食・栄養やデータ活用”に関する ⇒ **データ利活用/行動変容研究会**

“リビングラボ” <<手法として活用>>

◎ **オーラルサイエンス研究会**

[旧] オーラルヘルス研究会、フレイル予防研究会、アンチエイジング研究会

◎ **健康まちづくり研究会**

[旧] フレイル予防研究会、アンチエイジング研究会、疲労回復研究会
運動マネジメント研究会、医療のエコ活動研究会、まちかど保健室研究会

◎ **日常生活データ利活用/行動変容研究会**

[旧] 疲労回復研究会、医療のエコ活動研究会、まちかど保健室研究会

“口腔科学”

“抗加齢” “身体活動/運動” “睡眠”

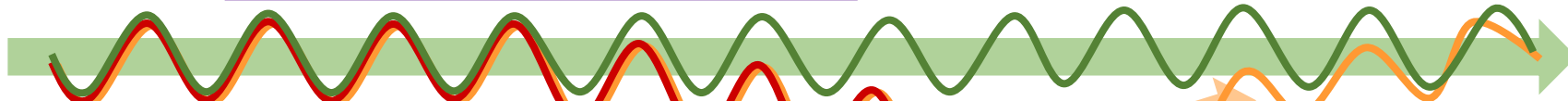
“日常生活/食・栄養” “データ利活用”

<<手法として>>
“リビングラボ”

健康共創の機能化・社会実装を推進！

さまざま要因により変動をきたす

健康状態維持



早期に 検知 + 早期介入

復調

疾患状態へ

加療

治療

Cure (キュア)

疾病の治癒と生命維持を主目的とする時代

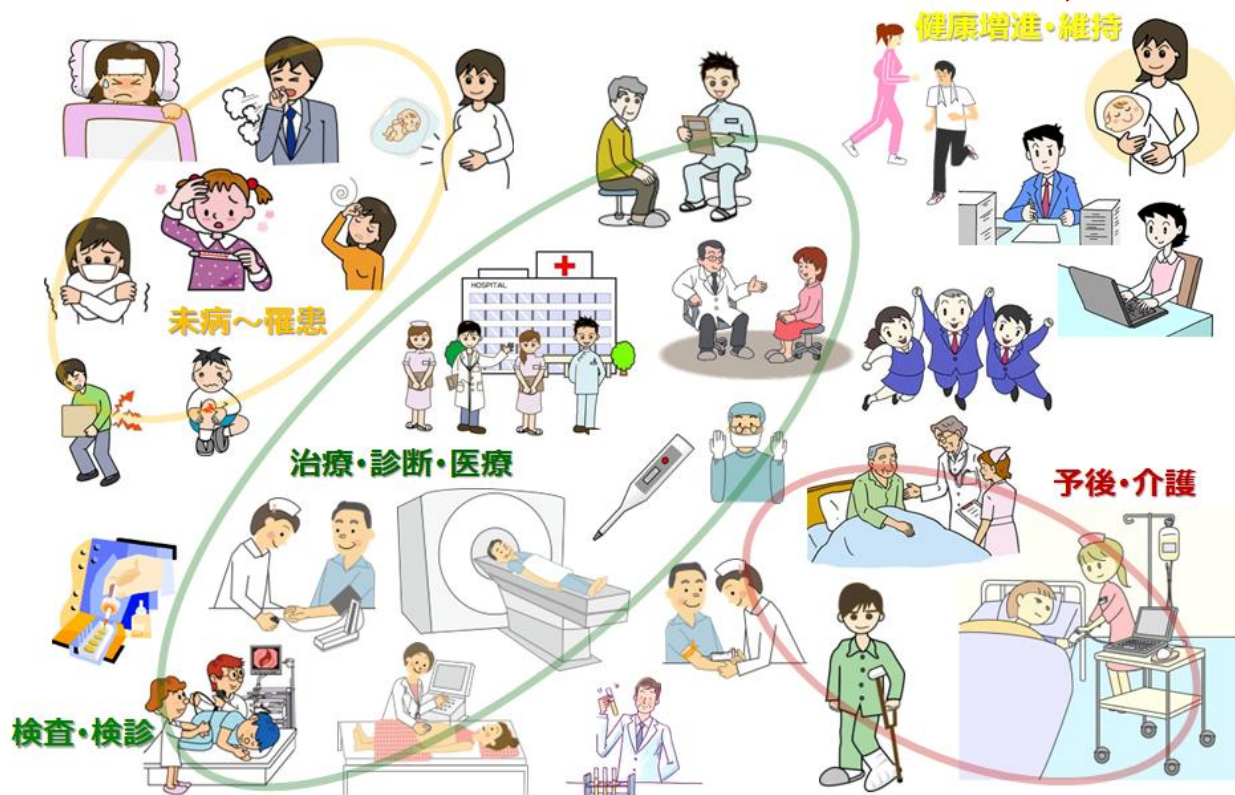
から

Care (ケア) へ

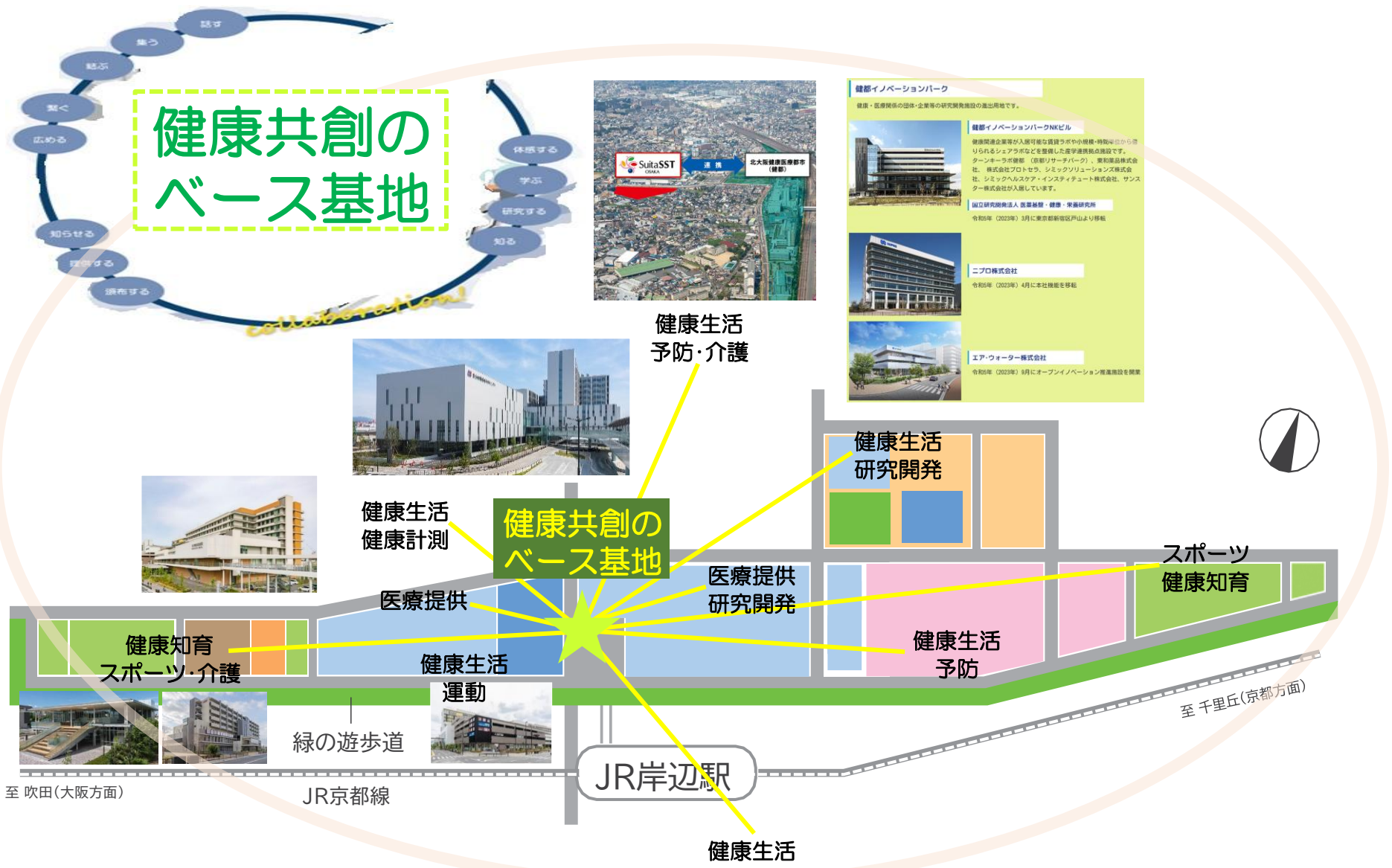
生活の質を維持・向上、精神的・社会的な健康の保持を！
医療と介護の連携、早期検知・介入、予防・先制など！

Precision Health / Primary Health Care (プレジジョン…)

早期/未然の検知・早期発見/予見することで健康保持、
データとAIを活用した高度分析による予測・予防、
データドリブン型のアプローチ、
一人ひとりの特性に最も効果的な治療・予防、
その達成の過程において、住民の主体的な参加も！



『健康“共創”のベース基地』の構築・確立、そして機能化へ!!!



関西地域のバイオ・ライフサイエンス拠点



**連携ネットワークの構築～
連携ネットワークに支えられた共創活動**

“クラスター”構築から“コネクション”形成重視で機能的に

(※ Map : 徳島大学・佐々木先生からご提供の図を一部改変)



一般社団法人 健都共創推進機構

*General Incorporated Association
KENTO Co-Creation Promotion Organization (KCOP)*